

環太平洋ヨットレースの報告(下)

NPO 館山外洋ヨットクラブ

橋 温

このイベントのユニークな点は、海外からの参加者は全員ホームステイし、市民との交流を深め日本文化を体験することにあります。

4月30日 ヨットレースのサポーターの人たちは、「若潮ホール」で、華道、日本舞踊、うちわ、琴、和紙人形ならびに書道など日本の伝統的な文化・芸術を見聞きするとともに、それらを体験しました。屈託なく楽しんでいる様子でした。異なった伝統をもつ質のいい日本文化は、外国の人たちの心をとらえるのでしょう。

5月1日 館山市のバスで、40名が「菜の花ホール」に行き太巻き寿司を作りました。日本舞踊の里見香華先生とお弟子さん、ボランティアの方々の説明を聞きながら、一人ひとりがすだれの上に卵焼きをおき、その上に寿司飯を広げ、焼き海苔、紅飯、でんぷ、しょうが、かんぴょう、ほうれん草を順序よくのせ、両手に力を入れて巻きます。「ハッハッハー」とか、「オーノー」、「エクセレント」などと賑やかに寿司を巻き、パックに詰めました。それを手に持ち、那古観音に行きました。本堂の前で太巻き寿司の弁当を食べ、本堂の裏からよく整備された道を通って展望台まで上りました。新緑がきれいで爽やかな風です。その後バスで崖観音に行きました。そこからは館山湾でのレース中のヨットが見えました。遠くから見るとカタツムリが丸い帆を上げてのんびり競争しているようでした。

5月2日 あいにくの小雨でしたが、バスで安房博物館に行きました。博物館では、館長の勧めで「万祝」の着物を着ました。着物はどんな体型の人でもそれなりに格好が付き、「見返り美人」のポーズで写真をとっていました。その後、向かいのレストランで昼食です。まずはビールで乾杯。大いに飲んで食べおしゃべりし予定を1時間ほど延長しました。いい気持ちになって城山に行き、ほどなく茶室に正座しました。雨の日の昼下がり、お点前は、平静さのなかで何もがきれいでした。その後、市立博物館に行きましたが、茶の湯のあとに残るいい感じで、館内を静かに回りました。

5月3日 「中里の家」に行き蕎麦うち体験です。ボランティアの人たちの説明を聞き、蕎麦粉と小麦粉を半々に混ぜ、しずかに水を入れ捏ねます。棒で伸ばし細く切ります。それから試食です。天ぷらと盛りそばをご馳走になりました。蕎麦を食べ緑茶を飲めばヘルシーです。日本食は体をクリーンにすると、よく発達したお腹のアメリカ人が言っていました。

その後南房パラダイスに行きました。この日は祝日だったので、家族連れで賑わっていました。縫いぐるみのウサギと全員で記念撮影です。その後、野鳥の森と安房神社にも行きました。ツアーの応援に横浜から来た友人は、館山には、外国の人たちにも満足してもらえる施設がたくさんあり、行けばささやかな発見がある。素晴らしいと言っていました。

今回のツアーで、楽しいイベントを企画して下さった国際交流協会や「中里の家」の皆様、館山市ならびに協力いただいた多くの方々にお礼申し上げます。

開会式前に記念撮影



若潮ホールでの日本文化紹介



館山市中央地区学習等供用施設「菜の花ホール」での太巻き寿司作り



知的障害者更生施設「中里の家」にて蕎麦うち体験



南房パラダイスにて



閉会式での日本文化紹介



閉会式での記念撮影

